

特別栽培農産物栽培管理計画書(変更)

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	24年1月30日

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごこち・あさひの夢 新生夢ごこち・夢の華・かぐや姫・ゆうだ い21・なすひかり
住所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ場	圃場一覧参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	202310 m ²
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月15日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごこち・かぐや姫、ゆうだ い21単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	24.2.上旬	発酵鶏糞	150 kg		
耕起作業	24.3..上旬				
種子消毒	23.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.04.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5kg 2kg 0.6kg		10畝-20枚換算
代掻き作業	24.04.下旬 から5月中 旬				
田植え作業	24.04.下旬 から5月 20	ルーチン粒剤 被覆尿素 マグマリーン	1kg 7.5kg 20kg	1回 3kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ～10日	ヤイバジャンボ	0.25キロ	2回	
土壌改良材流し込み	24.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
収穫、乾燥	24.09.中 旬から10月 上旬				
調整作業	出荷に合わ せ順次調整				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
3	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.00	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
ヤイバジャンボ	ピリミスルファン	2.00%
	フェントキサミド	12.00%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

(計 画)

○作業内容 あさひの夢、新生夢ごこち、なすひかり・夢の華

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	24.2.月上旬	発酵鶏糞	1 2 0 0 kg		
耕紀作業	24.3.月上旬				
種子消毒	24.3.月上旬	温水			温湯消毒
播種	24.4.月上旬	有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	8 2 . 5 リットル 4 kg 1 . 2 kg		1 0 畝-2 0 枚換算
代掻き作業	24.4 下旬から 5月中旬				
田植え作業	24.4.下旬から 5月下旬	ルーチン粒剤 マグマリン 被覆尿素	1 kg 20 kg 9 kg	1 回 3 . 6 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田植え後 7 ~ 10 日	ヤイバジジャンボ	0.25 キロ	2 回	
土壌改良材流し込み	24.05.25	海洋深層水 1 ヘルツ			
収穫、乾燥	24.09.中 旬 から 1 0 月 上旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				

○資材の使用内容

農 薬 成 分 回 数		
成分回数	基準値	使用割合
3	1 6	5 割減

窒素施用量 (k g / 1 0 a)		
窒素量	基準値	使用割合
3 . 6 0	8	5 割減

○使用資材の成分内訳等

農 薬 名	成 分 名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3 %
ヤイバジジャンボ	ピリミスルファン	2.00 %
	フェントラザミド	12.00 %

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

圃場

○作業内容

コシヒカリ

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	24.2.10 ~ 3.15	発酵鶏糞	150 kg		
耕起作業	24.3.1 ~ 4.10				
種子消毒	23.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.04.1 ~ 4.27	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 2 kg 0.6 kg		10%~20枚換算
代掻き作業	24.04.下旬 から5月中 旬				
田植え作業	24.04.下旬 から5月 20	ルーチン粒剤 被覆尿素 マグマリーン	1 kg 7.5 kg 20 kg	1回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ~10日	マイウェイジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	24.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布	24.6.1 ~ 6.15	ゼータワンジャンボ	0.25 キロ	1回	
除草剤散布	24.6.25 ~ 7.15	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	24.09.中旬 から10月 上旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				
調製作業					
出荷作業					

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

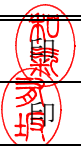

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マイウェイジャンボ	オキサジクロメホン	2.4%
	ピリミスルファン	2.2%
ゼータワンジャンボ	プロピリスルフロロン	2.25%
バサグラン液剤	ベンダゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

○出荷量及びマーク使用枚数 1と2の合計

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
133222		2340			2340

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
24年9月1日 和氣勝英 	5回	3	
24年9月1日 有坂誠 	5回	3	
年 月 日 印	回		

○特記事項

なし

圃場

○作業内容

夢ごこち、ゆうだい21、かぐや姫・(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	24.2.10 ~ 3.15	発酵鶏糞	150 kg		
耕起作業	24.3.1 ~ 4.10				
種子消毒	23.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.04.1 ~ 4.27	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 2 kg 0.6 kg		10%~20枚換算
代掻き作業	24.04.下旬 から5月中 旬				
田植え作業	24.04.下旬 から5月 20	ルーチン粒剤 被覆尿素 マグマリーン	1 kg 7.5 kg 20 kg	1回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ~10日	マイウェイジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	24.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布	24.6.1 ~ 6.15	ヤイバジャンボ	0.25 キロ	2回	
収穫、乾燥	24.09.中旬 から10月 上旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				
調製作業					
出荷作業					

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
5	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3	8	5割減

○使用資材の成分内訳等



農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マイウェイジャンボ	オキサジクロメホン	2.4%
	ピリミルスルファン	2.2%
ヤイバジャンボ	ピリミルスルファン	2.00%
	フェントサミド	12.00%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

○出荷量及びマーク使用枚数 1と2の合計

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
17895		596			596

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
24年9月1日 和氣勝英 	5回	3	
24年9月1日 有坂誠 	5回	3	
年 月 日 印	回		

○特記事項

--

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	24.2.25 ~ 3.20	発酵鶏糞	1000 kg		
耕起作業	24.3.1 ~ 4.15				
種子消毒	24.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.4.上旬	有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 4 kg 1.2 kg		10% - 20枚換算
代掻き作業	24.4.20 ~ 5.15				
田植え作業	24.4.下旬から5月.19	ルーチン粒剤 マグマリン 被覆尿素	1 kg 20 kg 9 kg	1回 3.6 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ~ 10日	マイウェイジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	24.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布	24.6.1 ~ 6.15	ヤイバジャンボ	0.25 キロ	2回	
除草剤散布	24.6.25 ~ 7.15	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	24.09.中旬から10月上旬				
調整作業	出荷に合わせて順次調整				
調整作業					
収穫、乾燥					
調製作業					

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
6	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.6	8	5割減

○使用資材の成分内訳等


農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マイウェイジャンボ	オキサジクロメホン	2.4%
	ピリミスルファン	2.2%
ヤイバジャンボ	ピリミスルファン	2.00%
	フェントキサミド	12.00%
バサグラン液剤	ペンタゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

○出荷量及びマーク使用枚数 1と2の合計

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
12676		422			

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
24年9月1日 和氣勝英 	6回	3.6	
24年9月1日 有坂誠印	6回	3.6	
年 月 日 印	回		

○特記事項

特になし

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	24.2.25 ~ 3.20	発酵鶏糞	500 kg		
耕起作業	24.3.1 ~ 4.15				
種子消毒	24.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.4.上旬	有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 4 kg 1.2 kg		10畝-20枚換算
代掻き作業	24.4.20 ~ 5.15				
田植え作業	24.4.下旬から5月.19	ルーチン粒剤 マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 9 kg	1回 3.6 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ~ 10日	マイウェイジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	24.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布	24.6.1 ~ 6.15	ヤイバジャンボ	0.25 キロ	2回	
除草剤散布	24.6.25 ~ 7.15	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	24.09.中旬から10月上旬				
調整作業	出荷に合わせて順次調整				
調整作業					
収穫、乾燥					
調製作業					

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
6	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.6	8	5割減

○使用資材の成分内訳等


農 薬 名	成 分 名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マイウェイジャンボ	オキサジクロメホン	2.4%
	ピリミスルファン	2.2%
ヤイバジャンボ	ピリミスルファン	2.00%
	フェントラサミド	12.00%
バサグラン液剤	ペンタゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

○出荷量及びマーク使用枚数 1と2の合計

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合 計
5836		194			194

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
24年9月1日 和氣勝英 	6 回	3.6	
24年9月1日 有坂誠  印	6 回	3.6	
年 月 日 印	回		

○特記事項

なし
